



ダウンライトによる火災にご注意を！

～ダウンライトの直下に布団などの収納物を置いていませんか？～

住宅や事業所の押入等の照明として設置されているダウンライトの火災が平成23年～平成27年までに47件発生し、そのうち、直下に置かれた布団や衣類などが、ライトの熱により火災となった事案が26件発生しています。本年は、9月末現在で同様の火災が10件（速報値）発生しており、これから衣類や布団の入替をする衣替えの時期になることから、東京消防庁では注意を呼びかけています。

【どのような状況で火災が発生しているのか】

住宅や事業所で、押入、納戸、室内や洗面所などに設置されているダウンライトの直下まで、布団、衣類やダンボール等の収納物を積み重ねて置いていた状態で、ダウンライトのスイッチを消し忘れたり、スイッチが入ったことに気づかなかつたことにより、ダウンライトの熱で着火して火災が発生しています。

ダウンライトは天井に埋め込まれているため、収納物を直下まで置くことができってしまうことから、押入や納戸などダウンライトが設置されている付近に物を収納する際は、注意が必要です。

【火災を防ぐために】

- 室内や物置、納戸、洗濯機置場等の収納スペース内のダウンライトの設置箇所をよく確認しましょう。
- ダウンライトを使用する際は、メーカーの説明書やホームページにある安全上の注意事項をよく確認し、ダウンライトから収納物まで適正な距離を取りましょう。
- 室内や収納スペースを出入りする際は、照明器具の点灯状況をよく確認しましょう。
- ダウンライトのスイッチの押し間違いや、体や物にスイッチが接触することによる誤点灯に注意しましょう。

※ 詳細は、別紙資料を参照してください。

※ 事例等の写真、実験映像を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111
予防部調査課 内線 5065 5066
広報課報道係 内線 2345～2350）

【ダウンライトにより収納物に着火した火災の状況】
 (平成 23 年から 28 年 9 月末現在、平成 28 年は速報値)

● 火災状況について (表 1 参照)

表 1 火災状況 (平成 23 年～平成 27 年)

年 別	火 災 件 数			損 害 状 況				
	合 計	部 分 焼	ぼ や	焼 損 床 面 積	焼 損 表 面 積	損 害 (千 円) 額	死 (人) 者	負 傷 (人) 者
(m^2)				(m^2)				
合計	47	4	43	40	16	31,326	-	5
平成 23 年	10	1	9	-	5	793	-	-
平成 24 年	10	1	9	-	1	288	-	-
平成 25 年	9	1	8	30	10	21,921	-	3
平成 26 年	7	-	7	-	-	147	-	-
平成 27 年	11	1	10	10	-	8,177	-	2
平成 28 年	10	1	9	-	3	274	-	-

※ 平成 28 年の数値は、9 月 30 日までの速報値です。

● どんな建物用途で発生しているのか? (表 2 参照)

表 2 用途別火災状況

	合計	共同住宅	住宅	事業所
合計	47	17	8	22
平成 23 年	10	4	3	3
平成 24 年	10	3	1	6
平成 25 年	9	4	-	5
平成 26 年	7	1	2	4
平成 27 年	11	5	2	4
平成 28 年	10	4	2	4

※ 平成 28 年の数値は、9 月 30 日までの速報値です。

● **どのような経過で火災に至っているのか？（表3参照）**

火災に至った理由（経過）をみると、布団などの可燃物が接触する「可燃物が接触する」が21件（44.7%）で、4割以上を占めています。次いで、電球の締め付けなどが緩んでいたことによる「金属の接触部が過熱する」が8件（17.0%）、紙や衣類等の可燃物がダウンライトに近づきすぎて、電球の熱を長時間受けたことによる「放射を受けて発火する」が4件（8.5%）などとなっています。

また、ダウンライトの電源スイッチが入ってしまったことに気付かず、積み上げていた布団等に着火する「誤ってスイッチが入る（入れる）」が1件（2.1%）発生しています。

表3 経過の状況（平成23年～平成27年）

経過	件数
合計	47
可燃物が接触する	21
金属の接触部が過熱する	8
放射を受けて発火する	4
過熱する	3
電線が短絡する	3
：	
誤ってスイッチが入る（入れる）	1
その他	7

● **ダウンライトの熱でどのような状況で収納物に着火しているのか？（表4参照）**

平成23年から平成27年までのダウンライトの火災47件のうち、ダウンライト直下まで収納物を積み上げたために火災に至った26件（55.3%）をみると、「布団」、「衣類」、「タオル」等の繊維製品類、「ダンボール」等の紙製品類などを積み上げたことにより着火しています。

住居系では、「押入」、「クローゼット」、「納戸」等、一旦扉を閉めると照明スイッチを入れても点灯状態を把握しにくいいため、発見が遅れる場合があります。

表4 着火物の状況

用途	状況	合計	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
合計		26	6	6	5	3	6	9
事業所系	ダウンライトに布を詰める	2	-	-	1	-	1	2
	ダウンライト直下までダンボール	1	1	-	-	-	-	1
	陳列棚のダウンライトの直下にマフラー（商品）	1	-	1	-	-	-	-
	ダウンライトにペーパータオルを詰める	1	-	-	1	-	-	-
	ダウンライト直下まで衣類	1	-	-	-	1	-	-
住居系	ダウンライト直下まで布団	13	3	5	2	1	2	3
	ダウンライト直下までタオル	3	1	-	-	-	2	-
	ダウンライト直下まで衣類	2	-	-	1	-	1	2
	ダウンライト直下までダンボール	2	1	-	-	1	-	-
	ダウンライトにすだれ接触（勾配天井）	-	-	-	-	-	-	1

※ 平成28年の数値は、9月30日までの速報値です。

● 月別でみると発生月に特徴はあるのか？（表 5 参照）

月別では、10月に9件（19.1%）と最も多く、次いで6月及び12月が各6件などとなっています。

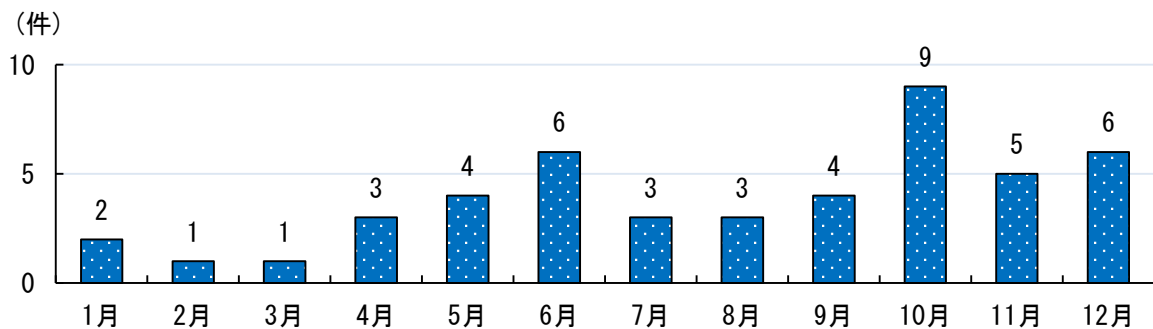
衣替えの時期に多く発生する傾向がみられます。

表5 月別火災発生件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成 23 年～ 平成 27 年	2	1	1	3	4	6	3	3	4	9	5	6	47
平成 28 年	-	1	-	1	2	-	1	4	1				10

※ 平成 28 年の数値は、9 月 30 日までの速報値です。

図 1 月別火災発生件数(平成 23 年～平成 27 年)



【火災事例】

事例1 洗濯機置場内のダウンライト直下に布団を積み重ねて出火した火災

(平成28年7月・世田谷区・共同住宅)

居住者が、洗濯機置場の棚に布団収納袋に入った羽毛布団を積み重ね、ダウンライトに接触した状態で収納したところ、照明を消し忘れたため、布団に着火し出火したものです。ケガ人は発生していません。

写真 1-1 洗濯機置場の焼損状況



写真 1-2 収納状況を復元



事例2 ロフトのダウンライト直下に荷物を積み重ねて出火した火災

(平成28年5月・八王子市・住宅)

居住者が、荷物置場に行っているロフトの収納棚に荷物を天井のダウンライトに接触した状態で積み重ねたため、点灯していたダウンライトが荷物のすだれに着火し出火したものです。ケガ人は発生していません。

写真 2-1 ロフトの焼損状況



写真 2-2 焼損した荷物とダウンライト



事例3 洗面所のダウンライト直下の収納棚上にタオルを収納して出火した火災

(平成27年10月・北区・共同住宅)

居住者が、ダウンライト直下の収納棚上にバスタオル4枚をダウンライトに接触した状態で並べて収納していたところ、スイッチを点けたままにしたためバスタオルに着火し出火したものです。ケガ人は発生していません。

写真3-1 洗面所の焼損状況



写真3-2 ダウンライトの状況



【ダウンライト火災の実験映像】

ダウンライト（100Wの白熱電球）直下に真綿布団を収納し点灯中に着火した状況



点灯後約10分で発煙し、無炎燃焼継続後、約1時間で発火に至った